

字法山書

一 字法山書ハ書五種トニニ三四五沙包ツク十包
ありて一四五包ハ試し

試の色紙の事ハ左ノ如シ

- 一 一色紙トシ
- 二 却の如ク
- 三 二色紙トシ
- 四 三色紙トシ
- 五 四色紙トシ
- 六 五色紙トシ

一色紙トシ紙の内ふかりしと書有並右試のみ色
 考えらば横の如き是ハ紙房等々却の如ク
 と名ふ也試紙ハ書考み色文何れも
 一色紙トシ書考し名ふ也試ハ合中記書
 中付ル

残る包ハ書併進申さる今一紙有也
 又一色紙トシ一色紙ハ書撰法一色紙
 一書乃書トシ一色紙ハ書撰法一色紙

名 口口口

新居をい却の山に
字は山を記
を記くらん
口口口
をとうら山
みやこの山
人そりり
月

山を記
をとうら山
人そりり

出者名

小草一草

小草の草の名の事し五と一の字は草を記
口文字の草を記の種ニ文字の草を記
草之種係草乃名不心切者一太一は草
の草の草

又も一草の名

草を記 草を記 草を記

草の字

かんくさ ちんくさ ちんくさ ちんくさ

草の字

すま ちんくさ ちんくさ

試考 字教初八三所との考

草の字は字二字のき合を名をいふは
の種よりいふは字二字のき合を名をいふは

みとくさのき合五種ある二字のき合ある一字
の試すはし証あるをいふ

小草考 凡 三 二 一

名	一	三	三	二	一
名	一	四	一	一	一
月	一	一	一	一	一
り	一	一	一	一	一

出考 全 二 名

ふせきねい ぐらつぐらつ
まゆりー ちささい ちささい

一こくこくみ

少る 考し 純 一一二四

名 名
しりしり
しりしり

月日

少考名

花月考

考六種 法包紙の年月

本考包の内

花ノ一 二包内を包減ス

考しししき付なり

花ノ二 二

花ノ三 二

月ノ一 二包内

月ノ二 二

月ノ三 二

右試減りて六包打湯を替へん
試み店札打むまのゆへん
ニウし考れ六枚入

競馬券例

券四種

- 一、券 四包 日一 包試
- 二、 二包 日
- 三、 二包 日
- 客、 二包 試

右試券にて十二包もききまあるは二包は残り
十包をあたしきれば十二包も二入をも一取戻也

一、馬の事なれ馬も赤馬客立すは初馬也

下馬ありしり業あり牧進也

一、勝負のまを所し事四人が五人せんハ十五

ハ人より十人せんハ二十から月也

一、老人おハ二から三度にああしゆた二からせれは馬も

おろし勝負せん下るく区行て意に勝負のまを試ハ

勝すは勝負のまを半も勝負のまを右ノ方せん

右の区行の区行の区行

札名 札

一	一	一	一	一
二	二	二	二	二
一	一	一	一	一
二	二	二	二	二
一	一	一	一	一
二	二	二	二	二
一	一	一	一	一
二	二	二	二	二
一	一	一	一	一
二	二	二	二	二

競秀記

赤方

五 六

松 松

一	一	一	一	一
二	二	二	二	二
一	一	一	一	一
二	二	二	二	二
一	一	一	一	一
二	二	二	二	二
一	一	一	一	一
二	二	二	二	二
一	一	一	一	一
二	二	二	二	二

石方勝

生秀名

六 全

札名

一、二、三、
名所ありて
一、二、三、二、一、二、三、
う、

昔所方 終

一、二、三、二、三、
一、二、三、二、三、
一、二、三、二、三、

八 八

札名

龍田方

一、二、三、
一、二、三、
一、二、三、

七 六

月日

山名

一、
二、
三、
又、
三、

矢数考

考甲種 一ノ考

四包内と包試

二ノ考

四包内

三ノ考

四包内

四ノ考

四包内

右武政りて考十二から文考七が横出

一版目し

一 證矢のまの地五版ありと六版の慶と

矢若みゆ一十版ありと六令の慶と所

まゆも一版あり四版進七十二版中慶と

としてむのまゆと進十二版たき

証録の下ニまの字と事

矢初分三進あり随うと進む

矢先と末をくむ心たき

札名札

月日

出書名

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十

十短香ハ出書ノ下ニ全トハ不云ナトトノ書シ

十二月紀香

子日香

香四種 一四包内一包試ス 二日部
 三三包試ス 客一包日部

右二三試香終りて十包を二包で結い倉内試
 合々札打込 結いぬく古の下
 一三子日香試ス 二三子日香試ス 三三子日香試ス
 三三子日香試ス

石名石名

兼合者之記

牡丹

白菊

牡丹の石とよするものあり

一二三四の石とよするものあり

牡丹

白菊

牡丹

牡丹

白菊

牡丹

牡丹

白菊

白菊

牡丹

牡丹

白菊

牡丹

白菊

白菊

牡丹

白

白

出音名

全 一 一 三

波

牡丹

福下

おまーの所をまきしる兼合よすとゆとゆりて

牡丹の石とよするものあり

牡丹の石とよするものあり

おまーの所

牡丹の石とよするものあり

牡丹の石とよするものあり

右名目

香五種

一三二四

二包ツ一包ツ減

二包二包減

一ツ山

二ツ里

三ツ浦

四ツ原

五ツ香

右試四種ありて此香十包打交は始末二種より名として

証簿の事

山ハ峯 山里ハ寺 山浦ハ谷 山系ハ松 山亨ハむ

里浦ハ地 里里ハ市 里山ハ城 里系ハ都 里亨ハ江

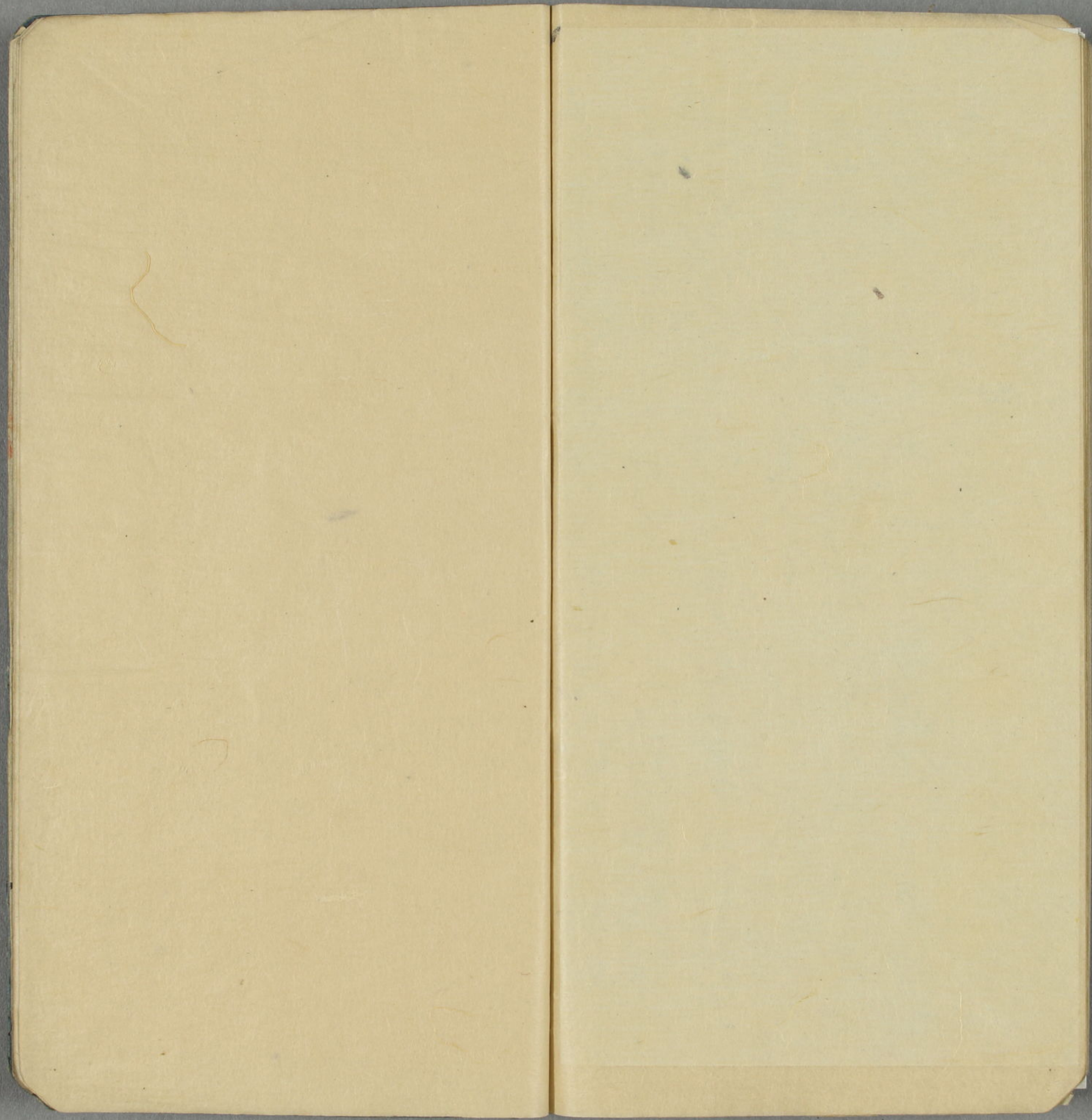
浦里ハ湊 浦浦ハ清 浦山ハ嶋 浦里ハ湊 浦系ハ海

浦雪ハ波 系系ハ野 原山ハ森 系里ハ田 系浦ハ島

原亨ハ砂 雪雪ハ泳 亨山ハ雲 亨里ハ畑 亨浦ハ音

亨系ハ鹿

右名目御事お進有し所ハ條々之改事及一証簿
たの



以

3

白

下

丁

紙

五七六



50.6.22

